

1. 科目名 (単位数)	心理学的支援法 (心理療法) (2 単位)	3. 科目番号	PSMP3382 EDPS3308
2. 授業担当教員	大住 誠		
4. 授業形態	講義、演習、討議	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	心理学入門・心理学概論を履修していることが望ましい。		
7. 講義概要	様々な心理療法の中から、クライアント中心療法、精神分析療法、行動療法、家族療法、芸術療法等の代表的な心理療法を取り上げ、その理論の成り立ちの歴史から概要と意義を学び、それぞれの技法を体験的に学習する。また、それぞれのアプローチにおける適応と限界についての理解を深めることで、クライアント自身や問題に適した心理療法を学ぶ。プライバシーへの配慮を含めた心理療法における倫理を学ぶ。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理療法の諸理論・諸技法について、その背景となる考え方を理解し、それぞれの治療・援助の方法を具体的に知ることで、その考え方や方法を日常生活に応用できるようになる。 2. 対人援助の場で、利用者の抱える問題に応じた心理的側面の援助方法を選ぶことができるようになる。 3. 訪問による支援や、地域支援の意義について理解している。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・講義前には必ず該当部分に目を通し、疑問点を明確にしておく。 ・2回レポートを提出する。(A4用紙2枚、2,400字以上) <ol style="list-style-type: none"> 1. 治療構造の概要と問題 心理療法には必ず治療構造があり、これを意識して守るように努めることはとても重要である。そこで、治療構造がどのようなものかその概要と、自分なりの意見を、文献を2, 3冊参考にして述べなさい。 2. 転移・逆転移の問題と対処法 心理療法には必ず転移・逆転移が問題となるが、これを意識して、適切に対処できることがとても重要である。そこで、転移・逆転移がどのようなもので何が問題かとその対処法についてまとめ、自分なりの意見を、文献を2, 3冊参考にして述べなさい。 		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 氏原寛・東山絏久著『カウンセリング初歩』ミネルヴァ書房、1992。 【教材】 随時資料を用意し活用する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回の授業に対して、学生自身の書いたものを通して、基本的事項の理解度を評価する。 2. 授業への参加度として、教員からの質問への応答の頻度と根拠を持った発言かどうかを評価する。 3. 課題レポート (または、期末試験) の文章が論理的であるかどうか、および基本的事項が盛り込まれているかどうかを評価する。 ○評定の方法 授業内の課題シート・学習ノート、授業態度・参加姿勢、課題レポート等を総合して評価する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内の課題シート・学習ノート 総合点の30% 2. 授業態度・参加姿勢 総合点の10% 3. 課題レポート(期末試験) 総合点の60% 		
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら主体的に取り組むようにすること。 ・事前に該当頁を必ず読み、分からない言葉・用語・概念などを調べて、授業に臨むこと。 ・討議を毎回取り入れるので、積極的に発言してほしい。 ・授業は正当な理由がない限り、欠席・遅刻・早退をしないでほしい。 ・他の受講生の学習に迷惑をかける行為 (携帯電話の操作、私語、居眠り、グループ活動に協力しない等) をしないようにしてほしい。 		
13. オフィスアワー	原則週に2コマを第1回の講義の際に指示をする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	・オリエンテーション (講義概要の解説)	事前学習	テキストのまえがきとあとがきを読んで、カウンセリングについての基本的な考えを理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	臨床心理士・公認心理師について参考書などで調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第2回	・カウンセリングの対象と心理的症状・問題 ・カウンセリングの目的と方法	事前学習	テキスト pp.2~20 を読んで、カウンセリングの目的と方法について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	心理的症状について参考書などで調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第3回	・カウンセリングの場所 ・カウンセリングの作用・副作用 ・インテーク面接 ・予備面接	事前学習	テキスト pp.21~46 を読んで、カウンセリングの作用・副作用について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	インテーク面接について参考書などで調べて、理解した内容をノートにまとめる。

第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・クライアントとは ・時間 ・治療回数・料金 ・その他の治療契約 ・医師や他機関との連携と紹介 	事前学習	テキスト pp.46～70 を読んで構造や連携について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	連携について参考書などで調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・初期と初期にまつわる問題 ・中期と中期にまつわる問題 	事前学習	テキスト pp.71～90 を読んで、初期と中期にまつわる問題について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	初期の問題について参考書などで調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・心理療法の文献の検討1（芸術・表現療法の事例） 	事前学習	事前に配布された芸術・表現療法の事例文献をよく読み、自分なりの理解をしておく。
		事後学習	箱庭療法について参考書などで調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・終結期と終結にまつわる問題 ・カウンセリングにおける成功・失敗 ・クライアントの満足感と自信 ・症状消失 	事前学習	テキスト pp.91～113 を読んで、終結にまつわる問題について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	終結と中断について参考書などで調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・適応と不適応 ・人格変容・プロセススケール・自己実現 ・カウンセリングにおける客観性と主観性 ・カウンセラーを目指す人 	事前学習	テキスト pp.113～140 を読んで、適応と人格変化について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	プロセススケールについて参考書などで調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングは効くのか ・他の人間関係とどう違うのか ・カウンセリングのねらい ・抑圧 	事前学習	テキスト pp.140～166 を読んで、カウンセリングの効果について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	抑圧について参考書などで調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第10回	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプレックス ・投影 ・カウンセリング関係 	事前学習	テキスト pp.166～184 を読んで、家族療法の概要について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	転移・逆転移について参考書などで調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・意味 ・共感 ・技法の問題 	事前学習	テキスト pp.184～199 を読んで、技法について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	共感について参考書などで調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第12回	<ul style="list-style-type: none"> ・心理療法の文献の検討2（精神分析的心理療法の事例） 	事前学習	事前に配布された精神分析的心理療法の事例文献をよく読み、自分なりの理解をしておく。
		事後学習	精神分析的心理療法、治療構造について参考書などで調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第13回	<ul style="list-style-type: none"> ・料金 ・心理テスト ・カウンセラーの価値観 ・転移性恋愛 	事前学習	テキスト pp.200～220 を読んで、心理テストについて理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	恋愛性転移について参考書などで調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第14回	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練 ・カウンセラーの専門性 	事前学習	テキスト pp.220～235 を読んで、カウンセラーの専門性について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	カウンセラーの訓練について参考書などで調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第15回	<ul style="list-style-type: none"> ・補足（プライバシーへの配慮、訪問支援、地域支援） ・まとめ（用語、概念） 	事前学習	テキストを読み直して、心理療法の用語・概念について復習し、疑問点を明確にする。
		事後学習	配布されたプリントを使って用語・概念について辞典などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。